EPS 18 ATEX 1232 X, IECEx EPS 18.0110X
電磁コイル タイプ AC10

II 2G/D Ex 承認済み製品

取扱説明書

MAN 1000447396 JA Version: AStatus: RL (released | freigegeben) printed: 16.01.2026

当社は予告なく技術的変更を加える権利を留保します。

© Bürkert Werke GmbH & Co. KG, 2014-2025

Operating Instructions 2510/05_JP-ja_00815313 / Original DE

MAN 1000447396 JA Version: AStatus: RL (released | freigegeben) printed: 16.01.2026

1 取扱説明書 4
1.1 用語の定義 4
1.2 記号 4

2 用途 5
2.1 防爆認証 5

3 安全に関する基本的な指示 6

4 全般的情報 7
4.1 連絡先 7
4.2 保証について 7
4.3 インターネット上の情報 7

5 製品説明 8
5.1 設計 8
5.2 ケーブル出口付き電磁コイル 9
5.3 接続端子ボックス付き電磁コイル 9

6 製品の使用条件 10
6.1 特別な条件 10
6.2 操作条件 10
6.3 動作温度範囲 10

7 技術データ 11
7.1 安全に関する注意事項 11
7.2 基準と指令 11
7.3 爆発危険領域用の銘板 11
7.4 国による承認付き銘板 13
7.5 電気データ 15

8 付属品 16
8.1 接続端子ボックス用ケーブル接続 16
8.2 接続端子ボックスの外部接地接続 16

9 設置と取り外し 17
9.1 設置 17
9.2 電気接続 18
9.3 取り外し 19

10 コミッショニング 20

11 メンテナンス、修理、トラブルシューティング 20
11.1 メンテナンス作業 20
11.2 修理 20
11.3 トラブルシューティング 20

12 輸送、保管、廃棄 21

1 取扱説明書

取扱説明書では、製品の全ライフサイクルについて説明します。本説明書は、すべてのユーザーが簡単にアクセスできる場所に保管し、製品を譲渡する場合は新しい所有者に本説明書も同時にお渡しください。

取扱説明書には重要な情報が含まれています。
- 取扱説明書をよくお読みになり、特に安全に関する指示に従ってください。
- 取扱説明書はすべてのユーザーが利用できるようにしてください。
- 取扱説明書に記載された指示に従わなかった場合、製品に対する責任および保証は無効になります。

1.1 用語の定義

ここでの説明では、「製品」という用語は常に電磁コイル AC10 を指します。

ここでの説明では、「Ex」という略語は常に「爆発の危険性」を指します。

1.2 記号

危険!

差し迫った危険について警告します。
- これに従わない場合、致命傷や重傷につながるおそれがあります。

警告!

潜在的に危険な状況について警告します。
- これに従わない場合、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

注意!

危険な状況となる可能性があることを警告します。
- これに従わない場合、中等度または軽度の怪我につながるおそれがあります。

注記!

物損の可能性があることを警告します。

重要なヒントと推奨事項

これらの取扱説明書、またはその他の文書の情報をご参照ください。

- リスクを防ぐための指示を示します。

→ 実行する必要のある手順を示します。

2 用途

電磁コイル タイプ AC10のを本来とは異なる用途に使用すると、人、近くの機器や周囲の環境に危険が及ぶおそれがあります。

電磁コイル タイプ AC10 は、気体または液体を制御するバルブを駆動するために使用されます。

- 電磁コイル タイプ AC10 によって制御されるバルブは、データシートで指定された流体にのみ使用できます。また、爆発等級グループ IICカテゴリー2Gおよび/または爆発等級グループ IIICカテゴリー2G、および温度クラスT4、T5、またはT6でのみ使用できます（爆発危険領域については、銘板の仕様を参照してください）。
- 電磁コイルは、第「6 製品の使用条件」章で指定された用途にのみ使用でき、Bürkert が推奨および認定したサードパーティ製品およびコンポーネントと組み合わせて使用することもできます。
- 引火保護等級は、ケーブル接続付きの電磁コイル向け防爆カプセル充填「m」となっています。
- オプションで取り付けられる接続端子ボックスの引火保護等級は、ガスの場合は「e」、粉塵の場合は「t」です。
- システムを正常かつ高い信頼性で使用するためには、適切な輸送ならびに保管と設置、および慎重な運用とメンテナンスが必要となります。その他の使用は許可されていないものとみなされます。Bürkert は、結果として生じるいかなる損害についても責任を負いません。リスクに対しては、ユーザーのみが責任を負うものとします。
- 製品は本来の目的にのみ使用してください。

2.1 防爆認証

防爆認証は、本取扱説明書に記載されているように、Bürkert が承認したモジュールとコンポーネントを使用する場合にのみ有効です。電磁コイル タイプ AC10 は、Bürkert が認可した追加コンポーネントとの組み合わせでのみ使用できます。そうでない場合、防爆認証は無効となります。システム、モジュール、またはコンポーネントに許可されていない変更を加えた場合、防爆認証も無効になります。

本製品は、Shanghai Inspection and Testing Institute of Instruments and Automation Systems Co., Ltd.上海計器自動化システム株式会社検査試験所（SITIIAS）による審査の対象となっており、国の防爆規格（GB/T 3836.2021 爆発性雰囲気）の要件に準拠している旨のCCC認定を受けています。

ECタイプの試験証明書とIECEx証明書は以下の機関によって発行されました。

Bureau Veritas Consumer Products Services Germany GmbH
Businesspark A96
86842 Türkheim（ドイツ）

電磁コイル タイプ AC10：	EPS 18 ATEX 1232 X、 IECEx EPS 18.0110X
接続端子ボックス：	PTB 15 ATEX 1011 U、 IECEx PTB 15.0037 U
製造は、以下の機関による監査を受けています。	Fiditas CE 2829 Ulica Slavka Tomerlina 44 10361 Zagreb-Sesvete Hrvatska（クロアチア）

EU タイプ試験証明書は、country.burkert.comから入手できます。

3 安全に関する基本的な指示

これらの安全に関する注意事項は、設置、運用、およびメンテナンス中に発生する不測の事態や事故を考慮していません。

オペレーターは、人員に関するものも含め、各事業所ごとに定められた安全規則を遵守する責任があります。

危険 — 高圧。

- 配管とバルブを緩める前に、加圧を停止し配管を減圧してください。

感電の危険があります。

- 製品の内部に手を差し入れる前に、電源をオフにして、再起動されないようスイッチを固定してください。
- 電気機器に適用される事故防止規定および安全規制を遵守してください。

製品の表面が高温の状態で長期間使用すると、火傷や火災が発生するおそれがあります。

電磁コイルは、長時間の稼働により非常に熱くなることがあります。

- 装置を可燃性の物質や媒体から遠ざけ、そして素手では触れないでください。

爆発の危険。

電磁コイルとバルブハウジングは、設置後にクローズドシステムを形成します。爆発危険領域で使用する場合、動作状態でシステムを開くと爆発のリスクがあります。

- 操作中はシステムを取り外したり開いたりしないでください。

静電気の放電による爆発のリスク。

静電気を帯びた製品や個体から突然放電した場合、爆発危険領域で爆発する危険性があります。

- 爆発危険領域中に静電気が蓄積されないよう、適切な対策を講じてください。
- 強力な電荷生成プロセス、機械的なリーミングおよび切断プロセス、電子の噴霧（静電コーティング装置の近くなど）、および空気輸送される粉塵が存在する場所では、本製品を使用しないでください。
- 製品の表面は、湿らせた布または帯電防止布のみで軽く拭いて清掃してください。

爆発の危険を避けるため、爆発危険領域での操作では、以下の点に注意する必要があります。

- 爆発危険領域の銘板には、温度クラス、周囲温度、保護等級、電圧に関する情報が記載されています。
- 設置、操作、およびメンテナンスは、資格のある専門家のみが行うことができます。
- 試運転と操作の際には、適用される安全規制（国内規制を含む）と一般的な技術基準を遵守する必要があります。

- 修理はメーカーのみが行うことができます。
- 製品は、取扱説明書で指定された制限を超える機械的および/または熱的負荷にさらさないでください。
- 接続端子ボックスを開く前に、電源を切り離してください。

一般的な危険な状況。

怪我を防ぐために、次の点に注意してください。

- システム/機器が意図せず作動しないようスイッチを固定してください。
- 設置中は流量方向に注意してください。
- 電源または空気圧の供給が中断された後は、必ずプロセスを定義済みまたは制御された方法で再開してください。
- バルブをラインにねじ込むときは、製品をレバーとして使用しないでください。

4 全般的情報

4.1 連絡先

ドイツ

ビュルケルトジャパン株式会社
〒112-0005 東京都文京区
水道1-12-15
白鳥橋三笠ビル
電話：03-5804-5020
Fax：03-5804-5021
メールアドレス：info.jpn@burkert.com

海外拠点

連絡先は、印刷された取扱説明書の最終ページに記載されています。
また、country.burkert.comでもご覧いただけます。

4.2 保証について

保証は、指定された使用条件に従って電磁コイル AC10 を意図したとおりに使用した場合にのみ有効です。

4.3 インターネット上の情報

Bürkert 製品の取扱説明書とデータシートは、country.burkert.com から入手できます

5 製品説明

5.1 設計

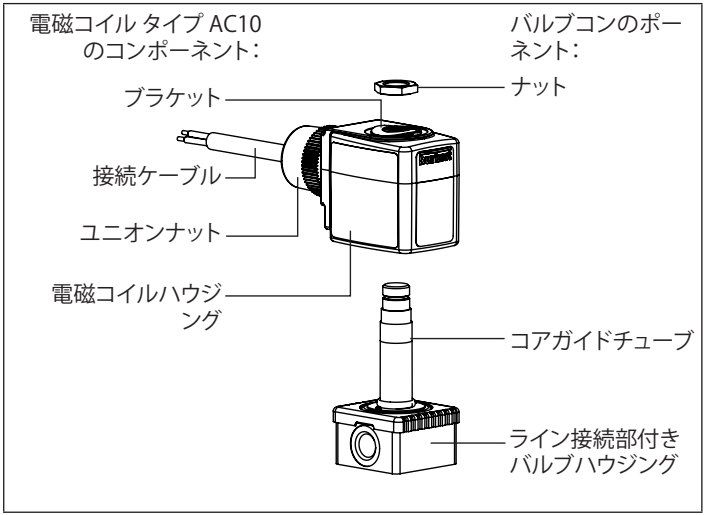


図1: 電磁コイル タイプ AC10、ケーブル出口付き

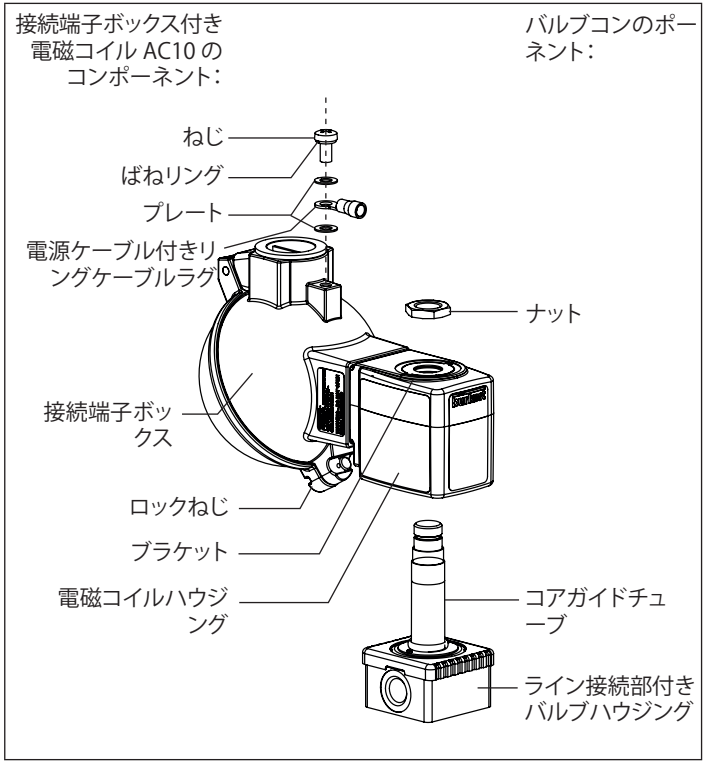


図2: 接続端子ボックス付き電磁コイルタイプ AC10

5.2 ケーブル出口付き電磁コイル

電磁コイルタイプ AC10 は、各種 Bürkert バルブ用の電磁バルブアクチュエータです。いわゆるトップマウント電磁コイルとして、バルブから 100% 分離されています。電磁コイルを取り外した場合でも、バルブはクローズドシステムを維持します。

電磁コイルは以下で構成されます。

- 電磁コイル巻線、
- 電磁コイルハウジング（エポキシ樹脂製）、
- 接続ケーブル、
- ブリッジ整流器。

交流または直流制御が可能です。

電磁コイルタイプ AC10 には、2 種類のフレームサイズで幅広い定格範囲に対応しています。電磁コイルとバルブのインターフェースは、どちらのフレームサイズでも同じです。

電磁コイルをバルブのコアガイドチューブの上に置き、ナットで固定されます。コイルはバルブに対して回転しないように確実にロックされます。

接続ケーブルは電磁コイル軸に対して垂直に引き出されています。ケーブルは電磁コイルに恒久的に組み込まれています。ユニオンナットは取り外しできないように設計されています。

電磁コイルとバルブの間のインターフェイスで、バルブの金属製コンポーネントとコイルの間に電気的接触が行われます。すべての金属制コンポーネントは、接続ケーブルの保護導線を介して接地する必要があります。

5.3 接続端子ボックス付き電磁コイル

電磁コイルの設計は下記「5.2」の説明と同じですが、ここには接続端子ボックスも取り付けられています（「図2」を参照）。接続端子ボックスは、タイプ試験証明書 PTB 15 ATEX 1011 U または IECEx PTB 15.0037U で認定されています。

ケーブル出口方向は、ご注文時のご要望にてお選びいただけます。出口方向は後でも変更できますが、これには特別な工具 [1] が必要となります。追加の等電位化用の接続セットが接続端子ボックスに同梱されています。「8.2」章の仕様を確認してください。

[1] これについては、最寄りの Bürkert 担当窓口にお問い合わせください。

6 製品の使用条件

6.1 特別な条件

6.1.1 静電気蓄積の防止

警告!

静電気の放電による爆発のリスク。

静電気を帯びた製品や個体から突然放電した場合、爆発危険領域で爆発する危険性があります。

- 爆発危険領域中に静電気が蓄積されないよう、適切な対策を講じてください。
- 強力な電荷生成プロセス、機械的なリーミングおよび切断プロセス、電子の噴霧（静電コーティング装置の近くなど）、および空気輸送される粉塵が存在する場所では、本製品を使用しないでください。
- 製品の表面は、湿らせた布または帯電防止布のみで軽く拭いて清掃してください。

6.1.2 ブロックアセンブリ

バルブブロックは、すべてのユニットのコイル出力が同じになるように構成してください。1つのバルブブロックで異なるコイル出力値を使用する場合は、定格電力が最も高いコイルの技術データに基づいて温度クラスを決定する必要があります。この場合、周囲温度は+40 °C以下とする必要があります。

6.2 操作条件

バルブは電磁コイルの冷却機能を提供します。電磁コイルはバルブなしでは使用できません。バルブハウジングは次の要件を満たしている必要があります。

- 材料
  金属（真鍮、アルミニウム、ステンレス）またはポリアミド
- 最小寸法
  32 mm x 32 mm x 10 mm

放熱性能の高い大型のバルブハウジングをいつでも使用できます。

個別設置用として設計された電磁コイルは、ブロックアセンブリには使用できません。

ブロックアセンブリ用として設計された電磁コイルは、ブロックアセンブリと個別設置の両方に適しています。

6.3 動作温度範囲

すべてのタイプにおいて、電気データで指定されている動作温度範囲を遵守してください。

7 技術データ

7.1 安全に関する注意事項

危険!

爆発の危険。

銘板に記載されている技術的安全データや値が守られていなかったり、満たされなかったりすると、危険な状況にいたるおそれがあります。

- 製品を使用する際の保護等級と温度クラスを遵守する必要があります。

銘板に記載されている電圧を超えると、製品の過熱につながる可能性があるため、安全上のリスクにつながります。

- 製品を銘板に指定されている電圧よりも高い電圧に接続しないでください。

7.2 基準と指令

本製品は、市場投入時に適用される法的要件に準拠しており、関連する欧州指令/規制および統一規格に基づき開発および検査されています。

適合性は文書化され、必要に応じて証拠によって裏付けられます。EU 適合宣言書は、ウェブサイトcountry.burkert.comのそれぞれのタイプの欄に掲載されています。

7.3 爆発危険領域用の銘板

7.3.1 電磁コイルの識別

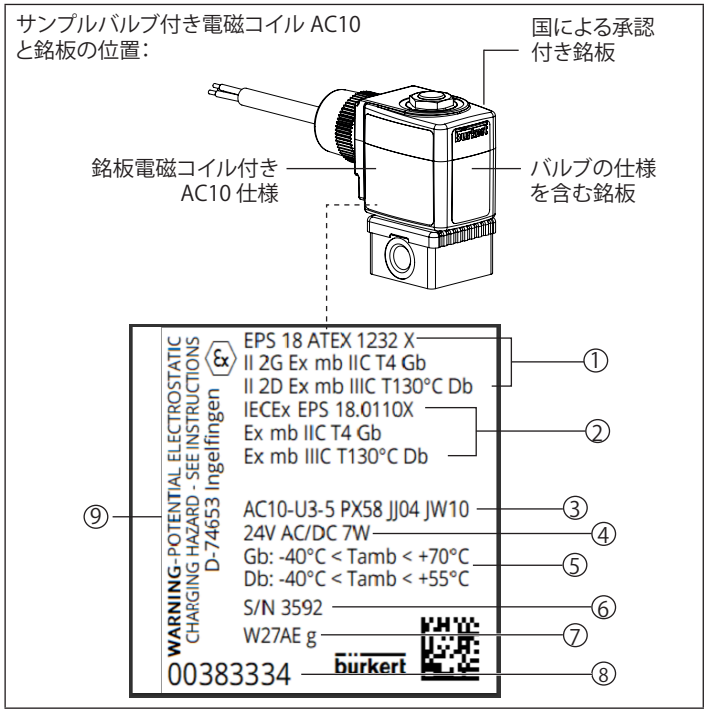


図3: 防爆に関する銘板の場所と説明(例)

凡例:

位置	説明
1	ATEX、証明書発行者および証明書番号、防爆に関するラベル
2	IECEx、証明書発行者および証明書番号、防爆に関するラベル
3	EX コード付きの銘板
4	公称電圧、公称出力
5	周囲温度範囲
6	シリアル番号
7	製造日
8	識別番号
9	警告情報

7.3.2 接続端子ボックスの識別

注記!

接続端子ボックスを取り付けることで、引火保護等級が変更となります。

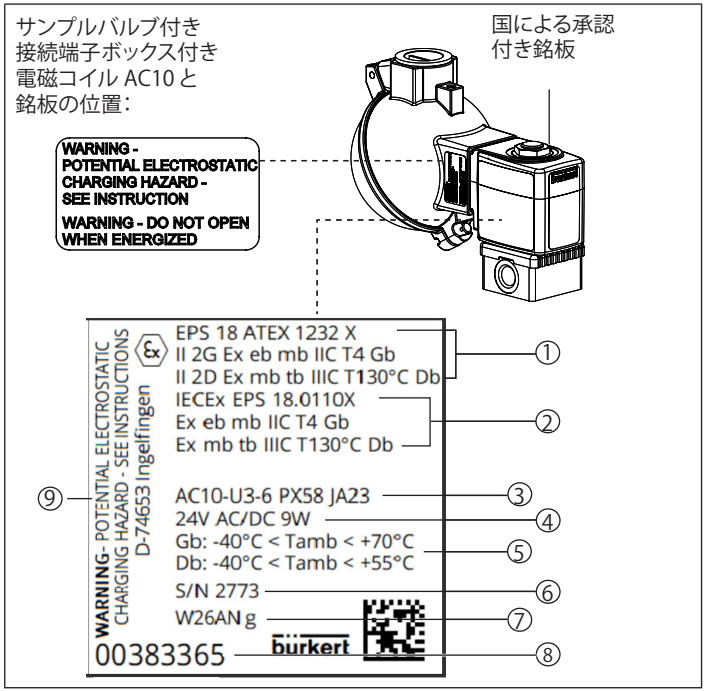


図4: 防爆に関する銘板の場所と説明(例)

凡例:

位置	説明
1	ATEX、証明書発行者および証明書番号、防爆に関するラベル
2	IECEx、証明書発行者および証明書番号、防爆に関するラベル
3	EX コード付きの銘板
4	公称電圧、公称出力
5	周囲温度範囲
6	シリアル番号
7	製造日
8	識別番号
9	警告情報

7.4 国による承認付き銘板

7.4.1 日本 TIIS

図5: 銘板 日本 TIIS (例)

凡例:

位置	説明
1	警告情報
2	防爆に関するラベル
3	EX コード付きの銘板
4	電気データ
5	周囲温度範囲
6	識別番号

7.4.2 韓国 KC:

図6: 銘板 韓国 KC(例)

凡例:

位置	説明
1	識別番号
2	警告情報

製品名:	電磁コイル
モデル名:	AC10
防爆に関するマーキング:	Ex eb IIC Gb, Ex tb IIIC Db
KC 認定番号:	25-AV4BO-XXXX(例)
認証機関:	韓国労働安全衛生庁(KOSHA)
設置規格:	KS C IEC 60079-14
適用規制:	保護装置の安全認証に関する通知、No.2021-22

連絡先情報
Burkert Korea Co., Ltd.
所在地:8F, Building B, Gwangmyeong Xi Tower, 67 Saebitgongwon-ro,
Gwangmyeong-si, Gyeonggi-do(韓国)
電話:+82 2 3462 5592
Fax:+82 2 3462 5594
メールアドレス:sales.korea@burkert.com
ウェブサイト:www.burkert.kr

7.4.3 中国 CCC:

図7: 銘板 中国 CCC(例)

凡例:

位置	説明
1	防爆に関するラベル
2	警告情報

7.5 電気データ

7.5.1 個別設置用コイル

直流電圧および交流電圧、12 V～240 Vの公称電圧、周波数 0 Hz～60 Hz

コード	全幅 [mm]	温度クラス	周囲温度範囲 [°C]	公称出力 [W]
PX58	32	T4/T130 °C	-40～+55	7.0
	40	T4/T130 °C	-40～+55	9.0
PX60	32	T6/T80 °C	-40～+40	3.0
PX61	40	T6/T80 °C	-40～+55	1.8
PX62	32	T6/T80 °C	-40～+50	2.25
PX64	32	T5/T95 °C	-40～+60	3.0
PX66	32	T4/T130 °C	-40～+80	3.0

7.5.2 ブロックアセンブリ用電磁コイル

⚠ 危険!

過熱による爆発の危険。

- 製品を銘板に指定されている電圧よりも高い電圧に接続しないでください。

直流電圧および交流電圧、12 V～240 Vの公称電圧、周波数 0 Hz～60 Hz

コード	全幅 [mm]	温度クラス	周囲温度範囲 [°C]	公称出力 [W]
PX59	32	T4/T130 °C	-40～+40	7.0
PX63	32	T6/T80 °C	-40～+40	2.25
PX65	32	T5/T95 °C	-40～+50	3.0

7.5.3 電気接続

材料[2]: ポリオレフィン
動作温度範囲[2]: -55～+145 °C（固定設置時）
最小曲げ半径[2]: 4 x 外径（固定設置用）
外径 [2]: 6.2 mm
タイプ/機能: 3 x 編組銅線 0.5 mm^2/LNPE

IEC 60754-1に基づきハロゲンフリー

タイプ	内部コード
常設ケーブル	JJ04 + JWxx[3]
内ネジ付き接続端子ボックス	JAxx

2) メーカー指定に基づくの仕様
3) 異なるケーブル長

8 付属品

8.1 接続端子ボックス用ケーブル接続

接続端子ボックスには適切なケーブル接続が用意されています。

プラスチック製ケーブル接続はバルブの納入範囲に含まれています。真鍮製ケーブル接続は別途ご注文いただく必要があります。他メーカーのケーブル接続も、設置場所に合わせて設計されており、正しく取り付けられるものであれば使用できます。ケーブル接続のアプリケーション温度は、最高周囲温度より最低15度高くなっている必要があることに注意してください。

材料	クランプ範囲 [mm]	動作温度 [°C]	注文番号	証明書番号
プラスチック	7～13	-40～+75	773 277	4)
真鍮	6～13		773 278	5)

材料	IP 保護	ダスト識別	ガス識別
プラスチック	IP66	II 2D Extb IIIC Db	II 2G Exe IIC Gb
真鍮			

4) PTB 13 ATEX 1015X、IECEx PTB 13.00034X
5) PTB 04 ATEX 1112X、IECEx PTB 13.00027X

8.2 接続端子ボックスの外部接地接続

電磁コイルに接続端子ボックスが付属している場合、外部接地用接続端子が同梱されています。

等電位化をパイプラインやプラスチック継手を使用して接続しない場合は、外部接地を介して接続できます。したがって、その使用は任意であり、運用者による評価が必要となります。

リングケーブルラグの接続容量は4～6 mm²となっています。接続は「図9」に示すように行われます。

9 設置と取り外し

危険!

危険 — 高圧。

- 配管とバルブを緩める前に、加圧を停止し配管を減圧してください。

感電の危険があります。

- 製品の内部に手を差し入れる前に、電源をオフにして、再起動されないようスイッチを固定してください。
- 電気機器に適用される事故防止規定および安全規制を遵守してください。

製品の表面が高温になった状態で長期間使用すると、火傷や火災の危険性があります。

- 装置を可燃性の物質や媒体から遠ざけ、そして素手では触れないでください。

接続ケーブルの損傷による短絡のおそれがあります。

- コイルの接続ケーブルは固定し、損傷から保護する必要があります。

爆発の危険。

電磁コイルとバルブハウジングは、設置後にクローズドシステムを形成します。爆発危険領域で使用する場合、動作状態でシステムを開くと爆発のリスクがあります。

- 使用中にシステムを分解しないでください。

危険!

静電気の放電による爆発のリスク。

静電気を帯びた製品や個体から突然放電した場合、爆発危険領域で爆発する危険性があります。

- 爆発危険領域中に静電気が蓄積されないよう、適切な対策を講じてください。
- 強力な電荷生成プロセス、機械的なリーミングおよび切断プロセス、電子の噴霧（静電コーティング装置の近くなど）、および空気輸送される粉塵が存在する場所では、本製品を使用しないでください。
- 製品の表面は、湿らせた布または帯電防止布のみで軽く拭いて清掃してください。

警告!

不適切な設置による怪我のリスク。

- 設置は、認定を受けた技師のみが適切なツールを用いて行えます。
- システムが意図せず起動されないようスイッチを固定してください。
- 組み立て完了後、適切に再稼働してください。

9.1 設置

詳細な取り付け手順は、各バルブの取扱説明書をご覧いただくか、country.burkert.comでご確認いただけます。

9.2 電気接続

危険!

感電の危険があります。

- 製品の内部に手を差し入れる前に、電源をオフにして、再起動されないようスイッチを固定してください。
- 電気機器に適用される事故防止規定および安全規制を遵守してください。

バルブの金属部分とコイルの保護導線との間に電気的接触がないと、感電の危険があります。

- 必ず保護導線を接続してください。
- コイルの保護導線とバルブのコアガイドチューブとの間で通電状態をテストします。

電磁コイルに接続端子ボックスが付いている場合は、以下の点にも注意してください。

- 恒久的に取り付けられているケーブルと配管のみを使用してください。
- 適切なケーブルと配管の入口を使用してください(「8」章を参照)。付属の取扱説明書の仕様に従ってください。
- 接続端子ボックスには、定格接続が0.5 mm ²～2.5 mm²の心線のみを使用してください。
- 接続端子のネジを0.25 Nmまで締め付けます。
- ハウジングカバーを適切にロックします。ロックスクリューを2 Nmで締め付けます。
- 保護導線接続部の通電を確認してください。
- ハウジングカバーを開く前に、電源を切り離します。
- ケーブルの温度上限は、周囲の最高温度より最低でも15 K高くなっている必要があります。

接続端子ボックス:

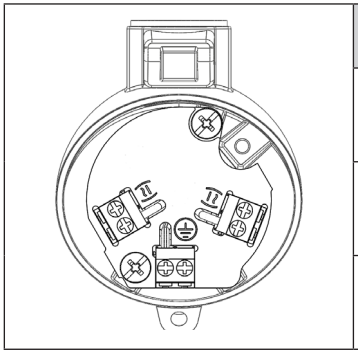
- 外部アース接続用の接続端子は、納入用の袋に梱包され、ハウジングカバーに接着されているため、製品の設置時に取り外す必要があります。

9.2.1 ケーブル出口付き電磁コイル

接続ケーブルは、電磁コイル タイプ AC10 とともにカプセル充填されており、取り外すことはできません。
銘板で示されている電圧を確認してください。

心線カラー	ピン割り当て
緑黄色	保護導線
黒	中性線/陰極 (-)
黒	相/陽極 (+)

9.2.2 接続端子ボックス付き電磁コイル



位置	電源ラインのピン割り当て
⏚	保護導線
(≃)	中性線/陰極 (-)
(≃)	相/陽極 (+)

図8: 接続端子ボックス

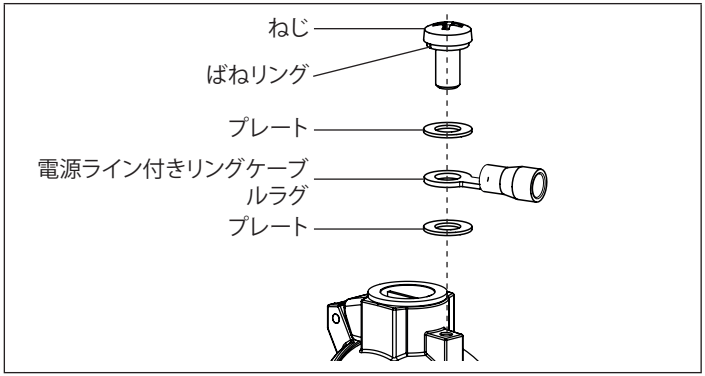


図9: 外部等電位化の接続

9.3 取り外し

危険!

危険 — 高圧。

- 配管とバルブを緩める前に、加圧を停止し配管を減圧してください。

感電の危険があります。

- 製品の内部に手を差し入れる前に、電源をオフにして、再起動されないようスイッチを固定してください。
- 電気機器に適用される事故防止規定および安全規制を遵守してください。

警告!

不適切な取り外しによる怪我のリスク。

- 取り外しは、認定を受けた技師のみが適切なツールを用いて行えます。

接続部から漏れ出た流体による怪我のリスク。

- 接続ラインを慎重に密閉します。

→ 電気接続を切り離します。

→ バルブハウジングをパイプラインから分離します。

注記!

汚れによる不具合!

- 再設置時には、接続部から古いPTFEテープを取り除きます。テープの残留物がパイプラインに入り込まないようにしてください。

10 コミッショニング

警告!

不適切な操作による怪我のリスク。
不適切な操作は、怪我だけでなく、製品とその周辺に損傷を引き起こすおそれがあります。
- コミッショニングの前に、操作担当者が取扱説明書の内容に精通し、完全に理解していることを確認してください。
- 安全に関する注意事項と使用目的を遵守してください。
- 機器または製品を起動できるのは、十分な訓練を受けた担当者のみです。

製品を起動する前に、以下の点を確認してください。
→ 製品が正しく設置されていること。
→ 接続が正しく行われていること。
→ 製品が損傷していないこと。
→ すべてのねじが締め付けられていること。

11 メンテナンス、修理、トラブルシューティング

11.1 メンテナンス作業

電磁コイル AC10 は、この取扱説明書に記載されている条件で操作するとメンテナンスフリーです。

11.2 修理

危険!

不適切な修理による危険。
修理後の AC10 コイルと対応する電磁弁の安全性と機能性は、メーカーが修理作業を行った場合にのみ保証されます。
- 製品の修理は必ずメーカーに依頼してください。

11.3 トラブルシューティング

誤動作が発生した場合は、以下の点を確認してください。
→ 製品が正しく設置されていること。
→ 接続が正しく行われていること。
→ 製品が損傷していないこと。
→ 電圧と圧力がオンになっていること。
→ 配管に詰まりがないこと。
→ すべてのねじが締め付けられていること。

12 輸送、保管、廃棄

注記!

輸送中の損傷!

適切に保護されていない機器は輸送中に損傷するおそれがあります。

- 輸送中は、耐衝撃梱包で装置を湿気や汚れから保護してください。
- 許容保管温度を超えたり下回らないようにしてください。

不適切な保管は装置の損傷につながるおそれがあります。

許容保管温度:-40～+80 °C.

- 装置は乾燥したほこりのない場所に保管してください。

環境に優しい廃棄処分

- 廃棄および環境に関する国の規制に従ってください。
- 電気・電子機器類は分別して回収し、特殊廃棄物として処分してください。

詳しい情報は、country.burkert.comをご覧ください。

bürkert
FLUID CONTROL SYSTEMS

country.burkert.com

MAN 1000447396 JA Version: AStatus: RL (released | freigegeben) printed: 16.01.2026